

《重要》ドライバー様へ

時間経過に伴い、録画データが上書きされる仕様となっております。事故等有事に遭遇した場合は、安全に停車したのち、本体電源をOFFにしSDカードを抜き取り保管してください。

または本機上部に接続されている電源ケーブルを抜き取り、動作を完全に停止させてください。

AMEX-A05/A05W/A05TR

取扱説明書



この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
製品を安全かつ正しくお使い頂くため、あらかじめ本書をよくお読みになり内容を十分にご理解の上で製品を使用してください。
また本書巻末に保証書が付属しておりますので、紛失のないよう保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き故障や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ずご一読くださいますようお願い申し上げます。



警告 この表示は、誤った取り扱いをすると、使用者または車が重傷を負う可能性が想定される内容を表示しております。



注意 この表示は、誤った取り扱いをすると、物的損害及び製品故障の発生が想定される内容を示しています。

免責事項

- 製品の動作の正常・異常に関わらず、犯罪・事故が発生した場合の被害について当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取付け・取り外しなど)により生じた車両等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 自然災害及び当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能状態から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失等)に関して、当社は一切責任を負いません。



水などがかからないようにしてください。

- 車外への設置をしないでください。またぬれた手では操作しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

分解・改造しないでください。

- 本機を分解・改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

異常状態で使用しないで下さい。

- 高温や悪臭などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止してください。煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。機器の分解は危険ですので絶対にしないで下さい。

この製品の取扱いについて

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。
- 本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で本製品を触れないで下さい。防水仕様ではありません。

落としたり、破損したときは

- 本機を落としたりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡ください。



注意

設置場所について

- フロントガラスのドライブレコーダー取り付け位置は、法律により制限されています。フロントガラスの実長20%範囲内の、フロントガラス上部に取り付けてください(保安基準に準拠のうえ)。この際、ルームミラーの動きを妨げないように注意してください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。故障・火災・感電の原因となる事があります。

この機器の取扱いについて

- 本機付属のケーブルを熱器具に近づけないで下さい。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

- 安全のため電源ケーブルを外すか、メイン電源を落としてください(車両側バッテリー保護のため)。

microSDカードについて

- microSDカードは一方向きが入りません。無理に押し込むと機器が壊れることがあります。

車両バッテリーの点検

- 駐車録画は車両の常時電源を使用しております。定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。

事故発生時の注意

- 事故後の車両移動などで録画データが上書きされてしまう事があります。事故に遭遇した場合は本体電源をOFFにし、SDカードを抜き取り保管してください。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心掛けください。
- 本機の使用及び外観、アイコン、表示名、表示の内容は実際と異なったり、改良のため予告なしに変更することがあります。
- バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機を長期間使用されない場合、本体の電源スイッチをOFFしてください。
- 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- 運転者は走行中に本機を操作しないでください。

録画についての注意

- 本機は連続で映像を記録しますが、全ての状況下において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切その責任を負いません。
- LED式信号機は色の識別ができない場合や、点滅して撮影される場合があります。その場合は、周辺車両の動きや前後の映像より判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切その責任を負いません。
- 事故発生時は、録画データが上書きされないように本体電源OFF後、SDカードを抜き取り保管して下さい。
- 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをされますと、データが破損する恐れがあります。

※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合
※通電(録画)中にSDカードを取り出した場合

※水に濡れたり、強い衝撃を与えた場合

※長期間使用しなかった場合

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電力が低下することがあります。これにより本体の電源がOFFになる場合があります。

microSDカードについての注意

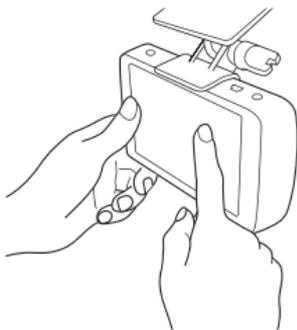
- SDカードの取出しは、必ず電源OFFの状態で行ってください。本機動作中にSDカードの取出しや、挿入を行うとSDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をしてください。長期間ご使用になると、劣化に伴う不良セクタの多発などにより録画不良やSDカード故障につながります。
- SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存する等、別媒体での保管をお勧めします。
- SDカードは必ず本体でフォーマット後、使用してください。
- SDカードのメーカーによっては、相性の問題で使用できない可能性がございます。相性による商品の動作保証はございませんので予めご注意ください。
- 本機でのSDカードは4～128GB、Class10以上をご使用ください。
- SDカードは消耗品ですので一定の使用期間が経つとメモリの一部が損傷されて正常な録画ができない場合があります。
- SDカードによる不具合が発生した場合は、新しいSDカードと交換してください。
- SDカードは消耗品の為、保証対象外となります。

撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、ひずみや、影が生じることがあります。これは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

タッチパネルについて

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて(タッチして)行います。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタッチしてください。



注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化するとGセンサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きを直し電源を入れなおしてください。
- 操作の実行は、タッチパネルをタッチして指を離れたときに判定されます。またタッチした場所と指を離れた場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
- 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタッチして操作してください。また2箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
- 感圧式のため、タッチした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

※ タッチパネルの反応にズレが発生した場合、本体(メイン画面・設定・システム)内のタッチ補正にて調整してください。

注意

使用する際は次の内容を守ってください。

- 走行中には、本機を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作を行うか、車両を停車してから操作を行ってください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の劣ったもので押さないで下さい。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤及び酸・アルカリ等の薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

1.	製品の特徴	09
2.	製品構成	10
3.	各部の名称	11
4.	主な仕様	12
5.	設置方法	18
6.	操作方法	22
7.	SDカードのフォルダー内容	34
8.	専用ビューアのインストール方法	35
9.	専用ビューアの説明	37
10.	アップデート方法	48
11.	故障かなと思ったら	49
12.	製品保証	54

1. 製品の特徴

AMEX-A05/A05W/A05TR

SDカードフォーマットフリー

独自フォーマットを採用することで、録画保存領域を予め断片化させ、データのデフラグや再整理を効率的に行うため、定期的なメンテナンスが要りません。

データ自動復旧

誤って録画データをパソコン等で削除してしまった場合、フォーマットをしない限りそのカードを本体に再挿入するとデータの復旧が行えます。(復旧対象はメディア容量に依存します。復旧目安容量最大128GB相当まで)

駐車録画

※常時電源接続時に有効

駐車または停車してから、10分(※エンジンOFF=約2分)後に自動的に駐車映像としてフレームレートを落して記録します。(車両が動くと常時録画に切替わります)

モーション録画

駐車録画中、人や車など、動きや光を検知して記録します。その後、再び駐車録画に戻ります。(周辺の環境や光により動作の差があることがあります)

カメラ : フロント Full HD (1920x1080) / 対角125°
: リア D1 (720x480) / 対角127°

記録Ch : AMEX-A05W 2CH(フロント+リア)
: AMEX-A05 1CH

GPS アンテナ : 車速・日時・位置 各情報取得

記録メモリ : microSDカード16GB(MLC/Class10)
4GB~128GB まで対応

画面 : 3.5インチ タッチパネル(感圧式)

ボイスガイダンス : 動作に応じて音声流れます

データ保護 : 電源遮断時のデータ保護機能
(※アクセサリ配線時)

ノイズ対策 : 地デジ・ナビ等への悪影響を低減

LED信号対策 : LED信号の悪影響をフレームレートで低減

2. 製品構成

AMEX-A05/A05W/A05TR

・AMEX-A05



本体
(W100x H64 x D33mm)



ブラケット



Micro SDカード
(16GB)



カードリーダー



GPSアンテナ
(1m)



常時電源ケーブル
(5m)



取扱説明書



ステッカー

※構成品のイメージは実物と異なることがあります。
※外観および仕様は予告無く変更する場合があります。

※SDカードはメーカー純正品を推奨します。

・AMEX-A05W

(A05 + 後方カメラ & ケーブルセット)



後方カメラ
(W51 x H26 x D29mm)



接続ケーブル
(9m)

・オプション



シガー電源ケーブル
(3m)



micro SDカード
32/64/128GB



後方カメラ接続ケーブル
(20m)



IR/赤外線車内向き
カメラ(1mケーブル含)



汎用バックカメラ接続用
RCA変換コネクタ(10cm)



映像分岐ケーブル(5m)

汎用バックカメラ接続用RCA変換コネクタと映像分岐ケーブルを組み合わせる事で既にお使いのバックカメラ映像を録画することができます。

3. 各部の名称

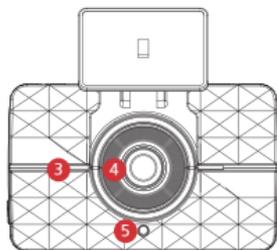
AMEX-A05/A05W/A05TR

・前方カメラ/本体

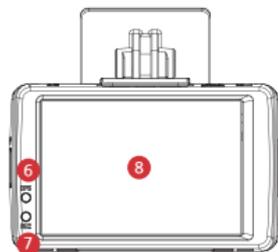
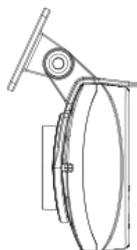


- ① microSDスロット
- ② 電源ボタン

-長押しでON/OFF

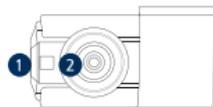


- ③ スピーカーホール
- ④ カメラレンズ
- ⑤ セキュリティーLED

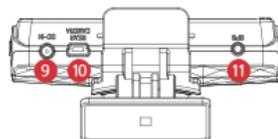


- ⑥ GPS LED
- ⑦ 録画LED
- ⑧ タッチパネル

・後方カメラ(AMEX-A05Wのみ)



- ① 録画LED
- ② カメラレンズ
- ③ ケーブル接続端子



- ⑨ DC-IN(電源連結端子)
- ⑩ 後方カメラケーブル接続端子
- ⑪ GPS接続端子

4. 主な仕様

AMEX-A05/A05W/A05TR

製品の仕様

センサー/走行時画素	CMOS 200万画素
撮影画角	対角125°(水平105°、垂直58°)
撮影画素	1920x1080 Full HD
液晶ディスプレイ	3.5インチTFT液晶/タッチパネル
音声記録	内蔵マイクありON/OFF可能
記録モード	常時/衝撃/駐車/モーション
フレームレート	デフォルト29.5fps(調整可能)
ファイル形式	独自形式(.JDR)→汎用フォーマット(.avi)で変換可能
Gセンサー	10段階切替
夜間映像補正	有り
LED式信号機対応	有り
GPSアンテナ	有り(外付けモジュール)
対応メモリー	microSDカード Class 10以上(4GB~128GB)
後方カメラ(AMEX-A05W付属)	CMOS30万画素(鏡像) 720x480 D1 : 対角127°(水平94°、垂直66°)
汎用バックカメラ取り組み	可能
フォーマットフリー	対応
専用ビューア	有り
データ復旧機能	有り
セキュリティLED	有り(ON/OFF可能)
駐車録画	有り(電圧低下遮断機能有り)
外形寸法	W100 x H64 x D33(mm)

4. 主な仕様

AMEX-A05/A05W/A05TR

重量	約120g（ブラケット含む）
電源	電源直結配線 + 赤線（車両ヒューズボックス） / - 黒線（車両アースポイント）
電圧	DC 12V/24V対応
消費電流	約300mAh
暗電流	約0.7mAh
使用温度範囲	-20°C~70°C

注）本製品の一部仕様は、品質改善のため予告なしに変更されることがあります。

録画時間目安(1CH/2CH)

フレームレート	メモリ容量/カメラ数(1CH/2CH)											
	4GB		8GB		16GB		32GB		64GB		128GB	
	1CH	2CH	1CH	2CH	1CH	2CH	1CH	2CH	1CH	2CH	1CH	2CH
5fps	8	6	16	12	32	24	64	48	128	96	256	192
10fps	4	3	8	6	16	12	32	24	64	48	128	96
15fps	2.7	2	5.4	4	10.8	8	21.6	16	43.2	32	86.4	64
20fps	2	1.5	4	2.5	8	5	16	10	32	20	64	40
29.5fps	1.4	1	2.7	2	5.4	4	10.7	8	21.4	16	42.7	32

- ※ 録画画質設定や映像内容により録画時間は変動します。
- ※ フォーマットフリー機能の特性上、生成されるファイル毎の録画時間は一定ではありません。
- ※ 駐車録画時は10fpsに固定して撮影を行います。

単位：時間

4. 主な仕様

AMEX-A05/A05W/A05TR

機能別 デフォルト設定

前方カメラ	明るさ	基本
	夜間補正	ON
	フレームレート (fps)	29.5
時間	自動再起動	ON AM3:00
	タイムゾーン	GMT+9:00
サウンド	音量調節	基本
	ボイスガイダンス	ON
	音声録音	ON
イベント	録画時間	20秒
	駐車 (fps)	10
	ブザー音	ON
	衝撃(録画機能)	ON
	モーション(録画機能)	OFF

動作検知	セキュリティLED	OFF
	駐車感度	基本
	衝撃感度	4
LBP	LBP	ON
	Winter LBP	OFF
	電圧(V)	12/24V
メモリ	領域設定	統合記録
	上書き	ON
LCD	バックライト設定	30秒

※ 画面に操作がない場合、30秒後にバックライトを消灯させます。
詳細はP.32をご確認ください。

4. 主な仕様

AMEX-A05/A05W/A05TR

本体の動作状況

GPS(青)LED	<ul style="list-style-type: none">- GPS受信状態になるとLED点灯/GPS測位中は点滅します。- GPSアンテナ未接続時はLEDは消灯します。
REC(赤)LED	<ul style="list-style-type: none">- 電源ON/常時録画中は赤LEDが点灯します。- イベント発生時は点滅します。
セキュリティーLED ※機能ON時 (レンズ下/青LED)	<ul style="list-style-type: none">- 走行中の録画(常時)モードは消灯/駐車モードは点滅します。- モーション検知時は高速点滅します。
タッチパネル	<ul style="list-style-type: none">- 電源ON後にオープニング画面が始まりメイン画面に切替わります。 ※ 初期値は約30秒でバックライトOFFになります。- バックライトOFFの状態タッチするとメイン画面が表示されます。
リアカメラ(青)通電LED	<ul style="list-style-type: none">- 常時録画、駐車録画に関わらず録画中は常時点灯します。- 本機録画中はリアカメラも連動し録画を行います。- 電源取得ができていないなど異常時には、LEDは消灯、又は 点滅になります。

4. 主な仕様

AMEX-A05/A05W/A05TR

録画モード

常時録画	<ul style="list-style-type: none">- 電源が入ると、常時録画を開始します。- 常時録画ではセキュリティーLEDは点灯しません。
衝撃（イベント）	<ul style="list-style-type: none">- 衝撃を検知するとブザー音が流れ録画LEDが点滅しながら、衝撃時の前後映像を衝撃録画として記録します。- 衝撃録画が終わったら自動的に常時録画に戻ります。
駐車（イベント）	<p>①常時電源にて稼働している場合</p> <ul style="list-style-type: none">- 駐車モードONで、駐停車時に振動を検知しない場合は約10分で駐車モードに変わります。またエンジン停止時は約2分で駐車モードに変わります。- 10フレームに固定し録画を行います。- セキュリティーLEDは1秒間に1回点滅します。- 車両が動くと自動的に常時録画に変わります。 <p>②ACC（アクセサリ）電源にて稼働している場合 ACC-ONの状態では約10分で作動します。 ※ACC-OFF（エンジンOFF）時は駐車中の録画は行われません。</p>
モーション（イベント）	<ul style="list-style-type: none">- 駐車モード時に、前方3m以内で動きがあるとモーション録画モードが動作します。（周辺の環境、または光により動作の差が生じることがあります）- セキュリティーLEDは高速点滅します。- モーション録画が終わると、再び駐車モードに戻ります。- 車両側フロントガラスの角度によりセキュリティーLEDの発光がガラスに反射しモーション（イベント）として記録する事がございます。

※ 全ての録画データは、時系列に沿って、古いデータから上書きする仕様となっております。有事など重要なデータは上書きされないように製品の電源を遮断する或いはSDカードを取り出し保管してください。

※ 本製品を車両バッテリー常時電源より接続した場合、駐車録画機能が強制的に“有効”となります。

駐車録画機能をご不要な場合は、ACC（アクセサリ）電源で接続を行ってください。

P 駐車10fps（ON）＝駐車時にフレームレートを10fpsにて録画します。

P 駐車「任意」fps（OFF）＝駐車時にフロントカメラと同じフレームレートで録画します。

※ 駐車録画機能そのものをメニュー内でOFFに設定してもアクセサリ電源に連動して電源が切れる仕様ではございません。

4. 主な仕様

AMEX-A05/A05W/A05TR

音声ガイドンス

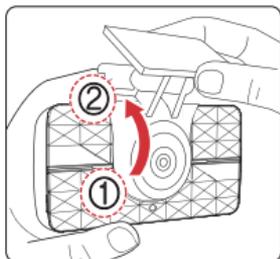
内容	音声ガイドンス
録画開始	録画を開始します。
電源OFF	システムを終了します。
録画領域不足	録画領域がありません。上書きの設定を確認してください。
GPS受信	GPSが接続されました。
非正常録画	映像が入力されていません。
駐車録画から常時録画に転換	運行モードで録画を開始します。安全運転をお願いします。
microSDカードフォーマット	SDカードをフォーマットしています。暫くお待ちください。
microSDカード未装着	SDカードが見つかりません。
microSDカード不良	SDカードが損傷している為、録画することができません。
microSDカードシステム復旧	SDカードが損傷されているため再起動します。再起動が続く場合はSDカードを交換してください。
ファームウェア正常アップデート	プログラムのインストール中です。電源を切らないでください。
ファームウェアアップデート失敗	プログラムファイルが損傷されているため、インストールできません。
LBP電源OFF ※P29参照	バッテリーを保護するためにシステムをシャットダウンします。

5. 設置方法

AMEX-A05/A05W/A05TR

本体の設置(前方カメラ)

1



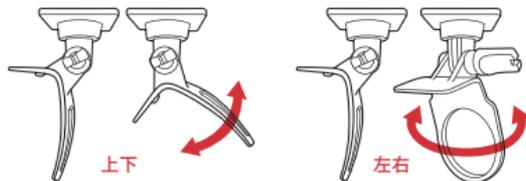
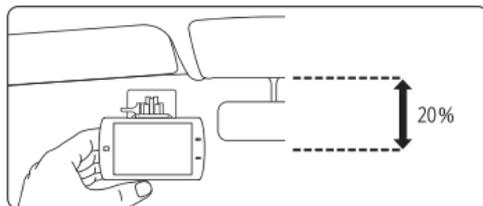
次の順に本体とブラケットを組付けます。
①ブラケットのホール部にレンズを通します、
②ブラケットの爪が本体上部溝に、はまるまで押し込みます。

2



ブラケットに付いている両面テープの剥離紙を取りガラス面に取り付けます。

3



車両の前面ガラスに付着位置を選定して付着し、本体のカメラが正面方向を向くようにブラケットを撮影角度に合わせて前後左右に調整し、最後につまみを絞り、しっかり固定します。

- 本機は防水になっていませんので、車内に取り付けてください。
- 取り付ける際は本機が落下しないようにフロントガラス面の油分や汚れを除去し、付属の両面テープを確実に取り付けてください。
- 他の無線機やテレビ、ラジオなどからはなるべく遠ざけ設置してください。

5. 設置方法

AMEX-A05/A05W/A05TR



※他のアンテナ類と被らないよう設置してください。

5 後方カメラの設置(AMEX-A05Wのみ)

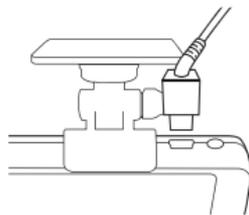
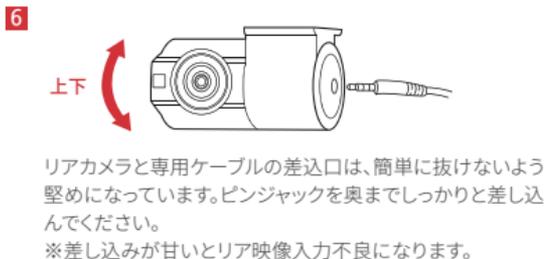


後方カメラを設置する際はブラケットに付いている両面テープで運転の支障が出ないガラス面に取り付けてください。

※カメラは防水になっていませんので、車内に取り付けてください。

※プライバシーガラスは、その上から添付して問題ございません。

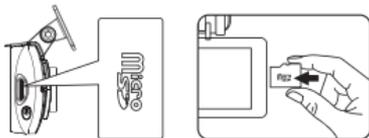
※カメラは鏡像仕様(左右反転)となっております。



本機と後方カメラを専用ケーブルで接続します。運転の支障が出ないように配線を処理してください。また余分なコード類はビニールテープ等でしっかり束ねてください。

- LED点灯 - 接続終了
- LED消灯(点滅) - 接続ミス、接続部を確認してください。

7 SDカードの挿入



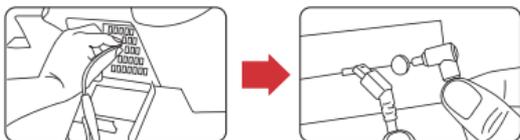
- SDカードは挿入方向に注意して差し込み、必ず“カチッ”と音が出るまで押し込んでください。
- SDカードには下図のように向きがありますので注意してください。



! Micro SDカード使用時の注意事項

- SDカードの挿入／取出し時は必ず本機の電源を切ってから行ってください。メモリが損傷する事があります。
- 純正SDカードをご利用下さい。
純正SDカードのお買い求めについては、販売店までお問い合わせください
- 社外SDカードは相性の問題で使用できない可能性があります、相性による製品の動作保証はございませんので予めご了承ください。
- 推奨microSDカード(純正SDカード)
容量:16GB/32GB/64GB/128GB
スピードクラス:Class10以上
NANDタイプ:MLC

8 電源ケーブルの設置



- 常時電源ケーブルを車室内のヒューズボックス電源(常時電源)と接続します。

- ＋赤色ケーブル＝車両電源(常時電源)に接続
- －黒色ケーブル＝車両のアースポイントに接続

常時電源とはエンジンON/OFFに関係なく常に電源供給されているヒューズ(線)の事です。

アースポイントとは車両GND(金属面)または、接している金属面の事です。

なお、ACC(アクセサリ)電源(エンジンON時のみ電源供給)に＋赤色ケーブルを接続した場合、本機はエンジン始動時のみ電源ONとなります。※駐車録画はしません。

- 常時電源ケーブルと車両側の接続が確実に完了しましたら、本機上部にあるDC-IN(電源連結端子)に常時電源ケーブルを差し込んでください。

この状態で自動電源ONとなりオープニング画面よりメイン画面に移行して録画スタートいたします。

※データが入っていないSDカードは1分程度の自動フォーマットが行われます。(新品のSDカード使用時)

自動車のヒューズボックス位置はメーカー車種毎に異なり、自動車の取扱説明書を参照して頂くか、専門業者に設置をご依頼する事をお勧めします。

設置する際に発生した製品・車輛の損傷について弊社は一切の責任を負いません。

⚠ 接置時の注意事項

- 本機を車両の外部に設置しないでください。
- 車両運転時にの妨げになる位置への設置は事故の原因になる恐れがあるので、ご注意ください。
- ※ 電源ケーブルとTVアンテナケーブルは結束して引き回さないでください。
- ※ 取付方法によってはドライブレコーダーとの干渉により地デジの受信感度が低下する場合があります。
- ※ ナビゲーション(オーディオ)等からではなく、ヒューズボックス内の常時電源またはACC(アクセサリ)電源より取得してください。
- ※ ACC(アクセサリ)電源より電源を取得した場合はLBP機能をOFFにしてください。
- ※ 配線の変更／車両載せ替えを行った場合は、必ず工場出荷時の設定「初期化」に戻して下さい。
- ※ 取得する電源の電圧確認をしてください。
12V車＝12V以上 24V車＝24V以上

データが入っていないSDカード（新品のSDカード）を挿入し、起動した場合は自動でSDカードのフォーマットを実行します。フォーマット作業には約1分かかります。フォーマットが完了するまで電源を切らないようにして下さい。

起動後、“録画を開始します”との音声ガイダンスが出ながら次のような画面がLCDに出力されます。メイン画面ではカメラの映像をリアルタイムで見たり、事故など必要な時に録画ファイルを再生することができます。また、録画環境を変更することができます。

※設定時間内に画面操作がないとLCD画面が自動で消灯します。※デフォルトは30秒



① 再生	録画映像を再生します。
② 画面をオフ	タッチすると、液晶画面が消えます。消えた後、再度タッチすると画面が表示されます。
③ リアルタイム	タッチすると現在運行中のカメラ映像が表示されます。
④ 設定	各種設定条件を変更できます。
⑤ 時計	日付/時刻が表示されます。
⑥ 電源を切る	システムをシャットダウンします。(電源OFF)

※ LCDとは液晶画面を指します。

再生ボタンをタッチすると録画した映像を再生できます。 ※注意 ファイル再生中は録画されません。

1



1 メイン画面で再生ボタンをタッチすると撮影したファイルが表示されます。

2 上段にあるタブ (常時/イベント) を選択すると録画ファイル別で表示されます。
常時タブをタッチすると常時リストのみ、イベントタブをタッチするとイベントリストのみが表示されます。

2 3 4

全体	常時	イベント
常時 17/01/25 12:59:48	常時 17/01/25 12:58:22	常時 17/01/25 12:56:56
常時 17/01/25 12:55:48	常時 17/01/25 12:54:12	常時 17/01/25 12:53:16

3 再生したい時間をタッチすると、再生されます。

4 左右矢印を使ってページを移動できます。

5 再生したいファイルをタッチすると、左図のように映像が再生されます。
(各ボタンはタッチ入力がないとき、5秒後に消え、再びタッチすると再度表示されます)

6 ホームボタン、または戻るボタンを押すとメイン画面に戻ります。

5 6



1 再生と一時停止ボタンです。

2 前・後方映像を選択して再生します。
タッチすると切り替わります。
(後方映像が接続されていない、又は接続ミス時には青画面表示となります)

3 映像の再生位置を示し、見たい位置にタッチすると
該当位置から映像を再生します。

4 タッチすると再生リストに戻ります。

※ 画面拡大機能

録画映像の再生時、特定部分を詳しく確認したい場合、当該部分を拡大して表示します。



- 1 ボタン表示部分以外をタッチし操作ボタンを消します。



- 2 拡大したい部分を長くタッチすると該当部分が拡大されます。
- 3 再度長くタッチすると、元に戻ります。



<前方>

- 1 メイン画面で“リアルタイム”ボタンをタッチすると画面には前方のカメラ映像が表示されます。



<後方>



<前・後方>

- 2 再度画面をタッチすると後方映像に切替わります。さらにタッチすると、2画面でワイプ表示になります。画面タッチする度に表示方法が変わります。
「フロント→リア→PIPフロント大／リア小→PIPフロント小／リア大」

※バックライト設定「常にオン（リアルタイム）」時は本機能で選択した画面が保持されます

PIP=ピクチャーインピクチャーの略称になります。
例：PIPフロント大／リア小＝フロント映像が大画面表示され小窓にリア映像が表示されます。



- 3 リアルタイム映像の右上のボタンは5秒間タッチがなければ消えます。画面をタッチすると、再度表示され、これをタッチするとメイン画面に戻ります。

- ! 変更された設定値の保存は、 アイコンを押し、メイン画面に戻った時のみに反映されます。
設定する機能によっては保存後にシステムの再起動が行われます。



使用者は任意に各種設定条件を変更できます。
メイン画面で“設定”ボタンをタッチすると設定画面が表示されます。



[前方カメラ]
設定画面の“前方カメラ”ボタンをタッチすると、カメラの明るさ、夜間補正、フレームレートを設定することができます。

- 明るさの調整・・・基本→明るく→暗く
- 夜間補正・・・・・・ON→OFF
- フレームレート・・・29.5→5→10→15→20 (fps)



[時間]

設定画面の“時間”ボタンをタッチすると、日付/時間、自動再起動、タイムゾーンを設定できます。

- 日付/時間・・・時刻はGPSで自動更新されます。
(数値は多少の誤差が生じる事もあります。)
- 自動再起動・・・システム動作を安定的に運用するため推奨する機能です。※デフォルトはAM3：00
- タイムゾーン・・・※通常は変更しないでください。



[サウンド]

設定画面の“サウンド”ボタンをタッチすると、音量調節、ボイスガイダンス、音声録音を設定できます。

- 音量調節・・・・・・・・基本→大→小
- ボイスガイダンス・・・ON→OFF
- 音声録音・・・・・・・・ON→OFF



[イベント]

設定画面の“イベント”ボタンをタッチすると、録画時間（衝撃検知後の録画時間）、駐車、ブザー音、衝撃、モーションを設定できます。

- 録画時間・・・2秒～30秒 ※デフォルトは20秒
- 駐車・・・・・・駐車10fps→駐車（前方カメラと同じ）fps
- ブザー音・・・・ON→OFF
- 衝撃・・・・・・ON→OFF
- モーション・・・OFF→ON

※ 駐車ボタンについて

駐車10fps＝駐車時にフレームレートを10fpsにて録画します。
 駐車（任意）fps＝駐車時にフロントカメラと同じフレームレートで録画します。



[システム]

設定画面の“システム”ボタンをタッチすると、動作検知、LBP（電源自動遮断）、バージョン、メモリ、LCD、初期化、各機能の画面に移行します。

※ 詳細は次ページへ、



[動作検知]

システム内の“動作検知”ボタンをタッチすると、セキュリティLED、駐車及び衝撃感度を設定できます。

- セキュリティLED・・・OFF→ON
- 駐車感度・・・・・・・・基本→高→低 ※駐車時の衝撃感度
- 衝撃感度・・・・・・・・1 (低)～10 (高) ※デフォルトは4



[LBP]

システム内の“LBP”ボタンをタッチすると、LBP機能を設定できます。LBP機能は車輛のバッテリーを保護するための機能です。設定値以下の電圧が10分以上続くと本機を自動的にシャットダウンします。ここでは、LBP機能をON/OFFでき、電圧値を任意に設定できます。

区分	設定可能電圧 (V)				
Power Off	11.3/23.3	11.5/23.5	11.8/23.8	12/24	12.3/24.3

※ 設定値よりも、電圧が下回ると本体は起動しません。
デフォルトは12/24V

※ LBP機能により電源遮断後、エンジン再始動時に連動して本体を起動させるため、微量な暗電流が流れます。
長期間(3日以上)運転されない場合は、本体上部の電源コードを抜くか、予め接続元をACC (アクセサリ) より取得してください。

※ WinterLBP機能はバッテリーの性能が低下する11月～3月期間中はPowerOffの動作が「12.3V/24.3V」で動きます。



[バージョン]
システム内の「バージョン」ボタンをタッチすると、バージョンを確認できます。また、Logをタッチすると本体の動作状態を記録した内容を確認できます。



[メモリ]

システム内の“メモリ”ボタンをタッチすると、領域設定、上書き、フォーマットを設定できます。

- 領域設定・・・統合記録(推奨)→フォルダ分け
- 上書き・・・・・・・・ON→OFF
- フォーマット・・・手動フォーマットを行います。

統合記録とは、1つのフォルダ内に常時とイベントデータを保存します。領域設定の比率は50：50までフォルダ分けが可能です。

※ファイルシステム上、統合記録を推奨しておりますが容易にイベントデータの集約や抽出が可能な仕組みとなっております。

※領域設定の比率を変更するとファイルシステム再構築の為にSDカードがフォーマットされます(データ削除)。
事前にバックアップを行ってください。

※本機にて個別データの保護や削除はできません。

※フォーマット作業後にLBPが働きます。本機の特性として入力電圧が低い場合、フォーマット作業後にLBP機能(バッテリー保護)が働き電源OFFになります。その際は手動で電源ONして下さい。

		メモリ比率			
イベント	統合	20%	30%	40%	50%
常時		80%	70%	60%	50%



[LCD]

システム内の“LCD”ボタンをタッチすると、バックライト設定、タッチ補正を設定できます。

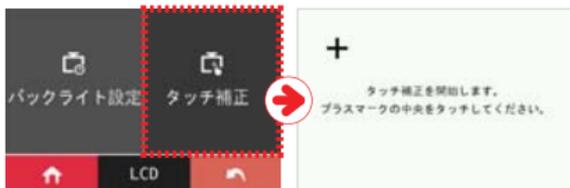
バックライトの自動オフ時間を設定できます。

- バックライト設定・・・30秒→1分→2分→5分→常にオン
(時刻表示) → 常にオン(リアルタイム)

※設定時間内に画面操作がないとLCD画面が自動的にOFFになります。

※常にオン(時計/リアルタイム)：該当機能設定時、システムは再起動から1分後に任意に設定した画面に移行されます。

※設定値「常にオン(リアルタイム)」の映像が任意で選択できます。
表示選択はメイン画面内「リアルタイム」にて選択した画面が保持(適応)されます。
フロント→リア→PIPフロント大/リア小→PIPフロント小/リア大



- タッチ補正・・・※LCDタッチパネルの反応にズレが発生した場合にはタッチ補正にて調整を行ってください。画面の順序に従ってタッチし補正します。



[初期化]

システム内の“初期化”ボタンをタッチすることで、各種設定値を工場出荷時に戻します。

※設定を反映する為に自動で再起動が行われます。

※工場出荷時の初期設定値はP14を参照

7. メモリカードのフォルダー内容

AMEX-A05/A05W/A05TR



- 1 本機の電源が消えたことを確認してからmicroSDカードを外します。
- 2 外したmicro SDカードをカードリーダーに装着した後、パソコンのUSBポートに差し込みます。
- 3 Windowsのリムーバブルディスクに左図のように表示されます。イベントフォルダーは環境設定にて領域設定20%以上設定されていると、イベントフォルダーが生成されます。領域設定を変更していない場合、イベントデータはdataフォルダーに格納されます。

⚠ 注意事項

メモリーカードにあるファイルを削除したりフォーマットしないでください。重要な映像は専用ビューアを用いてパソコンにバックアップしてください。

フォルダー名	内訳
1 Config(システム管理フォルダー)	- Log.txt : 本体の動作状態をログファイルとして記録します。 - Version.ini : 本体のバージョン情報を表示します。
2 Data(録画フォルダー)	- あらかじめ記録用ファイルが生成されており、メモリーカードの容量によりファイル数が異なります。
3 Event(イベント録画フォルダー)	- イベント (衝撃、駐車、モーション) データが貯蔵されています。
4 Update(アップデートフォルダー)	- ファームウェアアップデートデータをこのフォルダーに入れ本体に戻すと、自動的にアップデートされます。
5 AMEX-A05 PCViewer	- 専用ビューアソフトです、パソコンにインストールしてください。(ビューアソフトは本機より自動生成されます。)

8. 専用ビューアのインストール方法

AMEX-A05/A05W/A05TR

! 専用ビューア推奨PCの動作環境

CPU : Dual2.0G以上
OS : Win7/8/10以上
メモリ : 2GB以上
HDD : 4GB以上
GPU : DirectX9.0以上に対応するGPU

※ご使用のパソコン環境によっては、音声が途切れたり、映像再生がスムーズにいかなかったりする場合がございます。

専用ビューアは本機にて録画を行った際に、microSDカード内に生成されます。下記にならない、パソコンへインストールを行ってください。

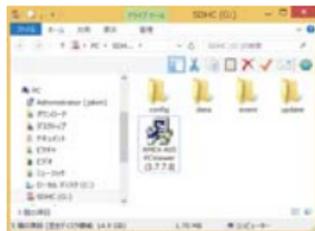
1 はじめに、本機にmicroSDを挿入して電源を入れてください。

2 microSD内にファイルシステムと専用ビューアが作成されます。作業が完了するまで電源を切らないでください。microSDの容量により作成に要する時間が異なります。

3 正常に完了すると、メイン画面が表示され録画を開始しますと音声ガイダンスが流れます。

4 本体の電源をOFFしてから、microSDカードを抜いてください。

5 パソコンに取り込み“AMEX-A05 PCViewer”をダブルクリックします



8. 専用ビューアのインストール方法

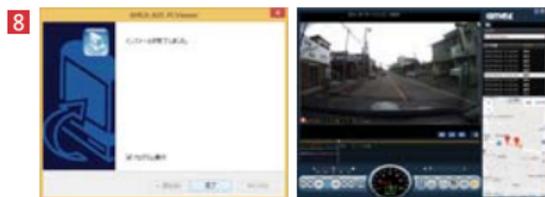
AMEX-A05/A05W/A05TR



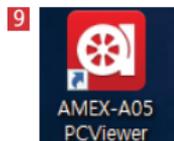
インストール画面が表示されます。
ここで“次へ”をクリックします。



標準インストールを選択し“次へ”を
クリックすると、インストールを開始します。



“完了”をクリックすると、専用ビューアが自動で開きます。



デスクトップに専用ビューアのショートカット

9. 専用ビューアの説明 | ビューア項目別名称

AMEX-A05/A05W/A05TR

お使いのファームウェア/PCビューアより最新バージョンがある場合は、PCビューア起動時にアナウンスされますので、必ず更新を行ってください。
※インターネット接続時のみ最新バージョンの確認を行っております。
SDカードをパソコンに挿入したのち専用ビューアを開いてください。



- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 イベント検索 | 5 シークバー |
| 2 再生リスト | 6 Gセンサーグラフ
X: 前後の動き / Y: 左右の動き / Z: 上下の動き |
| 3 マップ画面(インターネット接続時使用可能) | 7 再生速度調節 |
| 4 画面表示
(一画面/二画面/リア映像左右反転/モノクロ) | 8 音量調節 |

※リア映像反転機能は映像再生時のみに有効です。
※映像下部のテキスト情報も反転します。

9 再生メニュー

 	逆再生/再生
	一時停止
	リピート
 	次のイベント
 	1フレーム再生

10 速度計

11 設定メニュー

	コマ送り表示
	レーン(補助線)を引く
	印刷
	バックアップ
	設定
	開く

1 画面拡大



映像をダブルクリックするか、
最大化ボタンにて画面を拡大する事ができます。

元のサイズに戻す方法は“ESC”又は“元の表示に戻る”
ボタンをクリックすると、戻ります。



2 ズーム



画面内の該当箇所を右クリックするとズーム表示されます。



3 リピート



データ内の特定箇所をリピート再生できます。

リピートボタンを選択
シークを移動し開始時刻と終了時刻を設定し、
リピート再生することができます。

4 コマ送り表示



“コマ送り表示”ボタンを選択
映像をコマ送り表示することができます。

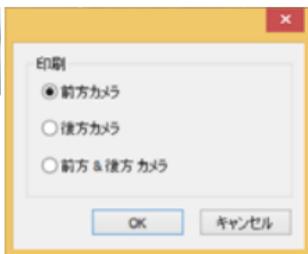
※ フレームレートに依りし抽出単位は可変します。

5 レーン (補助線)



“レーン (補助線) を引く”ボタンを選択
運転特性の確認のため任意でレーン (補助線)
を引くことができます。

6 印刷

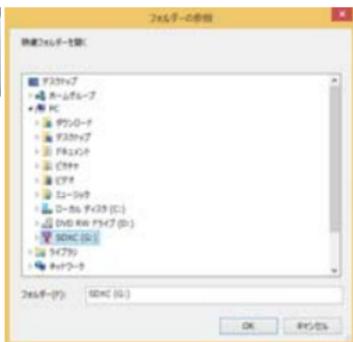


“印刷”ボタンを選択

ボタンをクリックした時点の停止映像と現在位置のマップを表示し、印刷することができます。

前方/後方/前方&後方カメラ映像を選択できます。

7 開く



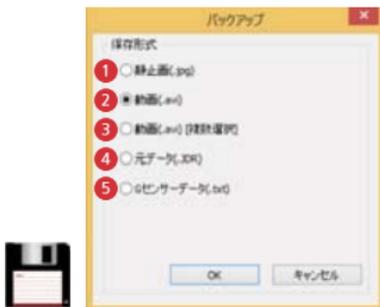
“開く”ボタンを選択

パソコンのフォルダーを表示します。

録画したフォルダーを選択して映像ファイルの再生ができます。

8 バックアップ

映像データを静止画・動画等、各型式で保存できます。



※ 例：②動画(.avi)ファイル選択画面

- 1 静止画(.jpg):再生中の映像ファイルをキャプチャーし静止画ファイルとして保存できます。
- 2 動画(.avi):再生ファイルを動画ファイルとして保存できます。
※3つの映像データを結合して1データとして保存できます。
(例)前ファイル+選択ファイル+後ファイル=データ(.avi)
- 3 動画(.avi) [複数選択]:複数のファイルを一括で動画ファイルとして保存できます
※1つ前の映像データを結合することはできません。
- 4 元データ(.JDR):映像データをそのまま保存できます。
※専用ビューアのみで再生可能
- 5 Gセンサーデータ(.txt):Gセンサーの数値をテキストファイルとして保存できます。

保存形式を選び“OK”を押しますと、左図のように各種情報・保存先等の設定画面が開きます。

音声も一緒に保存したい時は、オーディオ欄にチェックを入れてください。

※選択映像の1つ前と1つ後にチェックを入れると3つのデータを統合し1データとしてバックアップ可能です。

※フレームレートが異なる映像同士は結合できません。

“次へ”を押しますとバックアップされます。

システム



- 1 カメラ設定
映像のフレームレート、明るさ、夜間補正の設定ができます。
- 2 ボイスガイド
ボイスガイドのON/OFF、音量の設定ができます。
- 3 バックライト設定
バックライトの自動OFF時間を設定できます。設定した時間内にタッチがなければ自動でバックライトが消えます。
- 4 音声録音
画像と一緒に音声録音するかを設定します。
- 5 上書き
SDメモリがフルメモリに達した際に古い映像から上書きするかを設定します。
- 6 セキュリティーLED
セキュリティーLEDの点滅、点灯のON/OFFができます。
- 7 ブザー音
衝撃検知時にブザー音を鳴らすかを設定します。
- 8 タイムゾーン
GMT標準時間を設定します。(通常は変更しないで下さい)
- 9 自動再起動設定
自動再起動のON/OFFと実行時間の設定ができます。
- 10 km/h / mph設定
速度単位をkmかMilesに設定できます。

イベント



- 1 イベント設定
録画モードの設定ができます。
※モーション録画は駐車録画選択時のみ適用
- 2 録画時間
イベント発生後の録画時間調整ができます。
- 3 Gセンサー(走行/駐車)設定
走行時、及び駐車時に衝撃感度の調整ができます。
- 4 領域設定
イベントと常時領域の割合を変更できます。 初期値(統合記録※推奨)は全ての録画データをdataフォルダーに集約します。

! 注意事項

領域設定の比率を変更するとファイルシステム再構築のためSDカードがフォーマットされます(データ削除)。

ユーザー

- 1 車両情報
使用する車の情報を入力できます。
- 2 運転者情報
運転者情報を入力できます。
- 3 車両番号
車両番号を入力できます。
- 4 ユーザーID
ユーザーIDを入力できます(初期値:Admin)
- 5 パスワード
パスワードを設定できます(初期値:なし)
※パスワードは設定後の記録データに反映されます。
- 6 車両バッテリー保護
車両バッテリー上がりを防止するための機能です。
設定値以下の電圧が10分以上続くと本機を自動的にシャットダウンします。
- 7 WinterLBP機能
※バッテリーの性能が低下する11月～3月期間中は
PowerOffの動作が「12.3V/24.3V」で動きます。

! 注意事項

パスワードを忘れた場合、映像の再生ができませんので、ご注意ください。

※ハイブリッド車及びアイドリングストップ車での使用について供給電圧が低下することがあり、本体の電源が落ちる場合があります。
適宜・設定値の調整を行ってください。

SDカード



- 1 ドライブ指定
選択中のドライブ名を表示します。
- 2 修復
誤って録画データを削除してしまった場合、フォーマットしない限りデータの修復が可能です。
- 3 フォーマット
microSDカードのフォーマットを手動で行います。

バージョン

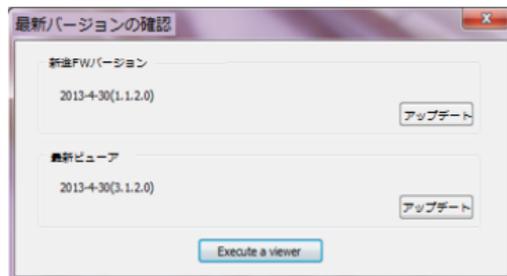


- 4 F/WVER
本体のファームウェアバージョンを表示します。
- 5 Viewer
専用ビューアのバージョンを表示します。
- 6 最新バージョン
最新のバージョンを表示します
(インターネット接続時のみ有効)

10. アップデート方法

AMEX-A05/A05W/A05TR

アップデート



最新のファームウェアやビューアにアップデートすることができます。

本機より取り出したmicroSDカードをパソコンに接続した状態で、PCビューアを起動させます。

- ① インターネット接続時アップデートバージョンがある場合は表示されます。
- ② アップデートボタンを押すことによりファームウェアの場合、SDカード内の“update”フォルダーに自動でコピーされます。PCビューアの場合、再インストールを実行してください。
- ③ SDカードを本機に戻し、起動させると自動で最新のファームウェアにアップデートされます。



11. 故障かなと思ったら

AMEX-A05/A05W/A05TR

製品が正しく動作しない場合は下記事例を参照の上、設置・使用方法を確認してください。

また、内部システムの機能向上やシステム改修を行っております。

最新情報(ファームウェアなど)はメーカーHPにてご確認ください

- 電源が入らない(赤LEDが点がない)
 - 電源ケーブルが車両側に確実に接続されているか、確認してください。
赤色ケーブル+を車両の常時電源に接続してください/黒色ケーブル-は車両のアースポイント(GND)に接続してください。
 - 本機の電源端子に電源ケーブルが奥まで差し込まれているか確認してください。
 - 電源ケーブルのヒューズは切れていませんか。
 - 手で電源を切った時は“Power Key”ボタンを長押ししてください。
- 電源がOFFになる
 - LBP機能(バッテリー保護)が作動している
 - *常時電源より取得されている場合
バッテリー上がりを防止する機能になります。
※車両特性に合わせて設定値を調整してください。(メイン画面又は時計表示画面にて車両からの電圧値がモニタリング出来ます。)
※特殊車両は走行中であってもLBP機能(バッテリー保護)が作動する場合があります、その際はLBPの設定値を調整してください。
※設定にて“LBP OFF”にするとバッテリー保護機能が働かずバッテリー上がりの原因になりますのでご注意ください。
※長期間(3日以上)運転されない場合は、本体上部の電源ケーブルを抜いてください。
※LBP機能(バッテリー保護)により本体の電源がOFFになった後も、エンジン再始動時に連動して本体を起動させるために微量な暗電流が流れます。
 - *ACC(アクセサリ)電源より取得されている場合
LBP機能(バッテリー保護)が作動している為、設定内にてLBP機能をOFF設定にしてください。
- GPSが認識されない(青LEDが消える)
 - GPS接続端子は奥まで挿入してますか。再接続を行ってください。

11. 故障かなと思ったら

AMEX-A05/A05W/A05TR

- 画面がすぐに黒くなる
 - LCD (バックライト) は設定時間になると自動OFFになります(デフォルトは30秒)。任意で設定してください。
- 起動に時間がかかる
 - microSDカードのデータ容量によって時間が長くなります。
 - カードのシステムチェック・フォーマット等の処理中です。
 - 各動作(機能)により起動時間が異なりますが異常ではありません。
 - *常時電源より取得されている場合
駐車監視から常時録画に切り替わる時
LBP機能(バッテリー保護)によりシャットダウンしてからエンジン再始動に連動して本機を起動する時
 - *ACC(アクセサリ)電源より取得されている場合
エンジン始動により連動して本機を起動する時
- 録画ができない
 - 映像再生中は録画が停止します。メイン画面に戻してください。
 - SDカードの損傷・寿命の恐れがありますので新しいカードに交換してください。
 - LBP機能(バッテリー保護)が作動している時は録画が停止になります。
 - ACC(アクセサリ)電源より取得している車両では駐車時の録画機能は動きません。
- 頻繁に衝撃(イベント)録画される/録画されない
 - 動作検知の「駐車・衝撃」感度を調節してください。
- 本体が熱を帯びる
 - 本機は作動中に熱を発生しますが異常ではありません。※異臭や煙が発生したり異常な熱を感じた場合は直ちに使用を中止してください。

- 常時録画の記録映像で録画時間幅にバラツキがある
 - 独自フォーマットを採用している為に個々の記録データ幅にバラツキが発生しますが、異常ではありません。
- 地デジTVが見られない
 - 電源ケーブルと地デジアンテナケーブルを放してください。
 - 電源ケーブルとTVアンテナケーブルは結束して引き回さないでください。
 - 取付方法によってはドライブレコーダーとの干渉により地デジの受信感度が低下する場合があります。
 - ナビゲーション(オーディオ)等からではなく、ヒューズボックス内の常時電源またはACC電源より取得してください。
- 信号機の色が点滅する
 - LED信号機は仕様上点滅して撮影される場合があります。周辺車両の動きや前後の映像から判断してください。
- 映像にノイズが入る
 - 一部強い電波ノイズが発生する施設/機械の近くでは影響を受ける事が御座いますが異常ではありません。

- ログメッセージ内容

LOG Message	説明
F/W FILE ERROR	アップデートすべきFWファイルが損傷されてアップデートが進行できない場合
[F/W] MODEL NUMBER WRONG!!	別のモデル用FWを使ってアップデートしようとする場合
F/W UPDATE GOING	アップデート進行中です(アップデートが成功するとこのログが消えます)
F/W UPDATE:[ファイル名]	アップデートされたファイル名です(FWアップデートが正常的に完了するとすべてのログメッセージが消えます。このメッセージがすべてのログの始まりです)
RECORD RESTORE	録画映像が復旧された場合
MBR_RESTORE	貯蔵装置ファイルシステム(FAT32)のMBR領域が復旧されたとき
PBR_RESTORE	貯蔵装置ファイルシステム(FAT32)のPBR領域が復旧されたとき
DEVICE FORMAT	SDカードフォーマットされたとき
SD REMOVE	SDカードに録画する途中に使用者が強制にSDカードを外した場合
SD CARD INVALID	SDカードが挿入されたが、SDカードが損傷された場合
SD CARD WRITE PROTECTED	SDカードに書き込み禁止タブに設定された場合(SDカードが読み込み専用)
SD INSERT	録画途中にSDカードが挿入された場合
SD CARD DETECT	本機がSDカードの正常/装着を認識した記録
SD CARD PROBLEM	一時的なカードエラーの疑い。フォーマットしても改善しない場合はSDカードを交換してください。
FILESYTEM ERROR	SDカードのファイルシステムが損傷された場合
NORMAL FOLDER FULL	上書きオプションを解除した状態でNormal Dataフォルダーが満杯になった場合
EVENT FOLDER FULL	上書きオプションを解除した状態でEvent Dataフォルダーが満杯になった場合
DISK FULL	上書きオプションを解除した状態ですべてのDataフォルダーが満杯になった場合

REAR CAM INVALID...1	後方カメラが連結されている信号があるのに、映像が入ってこない場合(後方カメラの損傷の疑い)
VIDEO CAPTURE ERROR => REAR CAM	後方カメラが連結されている信号がなく、映像が入ってこない場合(録画途中に後方カメラの連結解除の疑い)
VIDEO CAPTURE ERROR => FRONT CAM	前方カメラの映像が入力されていない場合
POWER OFF	LBP機能 (バッテリー保護) により本機の電源がOFFになる記録
AUTO REBOOT(時:分)	自動再起動した時間の記録
ACTIVE(時:分)	装備の正常動作可否をチェックした記録(自動再起動設定がOnの場合には指定された時間の12時間後に記録、自動再起動がOffの場合は自動再起動に設定されている時間の12時間後の記録)
APP START	本機の動作を起動 (アプリケーションソフトウェアのスタート) した記録
POWER START	LBP機能 (バッテリー保護) により本機の電源がOFFした後、本機が再起動した記録
APP EXIT	本機の動作を停止 (アプリケーションソフトウェアのストップ) した記録
REAR CAM DISCONNECTED	後方カメラの連結解除時
REAR CAM CONNECTED	後方カメラ連結時
VIDEO CAPTURE INVALID => FRONT CAM	前方カメラが損傷されて映像が入力されない場合

※ 本機の異常が生じた時にLogファイルを見て状況を確認できます。このファイルはSDカードのConfigフォルダーにあります。

無償修理について

- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で異常・故障が発生した場合は、表記の期間無償修理致します。
- 無償修理を受ける場合は、お買い上げの販売店もしくは当社にお申し付け下さい。
- 保証期間内であっても取付けや取外しに際して発生した費用や設置個所の損傷等は保証の対象となりません。
- ご贈答品または転居などで保証書に記入の販売店で修理を受けられない場合には、当社へご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

保証免責事項（保証期間内でも以下の場合は有償修理になります）

- 1) 誤った使用や不当な改造で生じた故障・損傷
- 2) お買い上げ後の輸送や落下などで生じた故障・損傷
- 3) 本書のご提示がない場合
- 4) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、字句が書き換えられた場合
- 5) お取付後の移設等に起因する故障・損傷
- 6) 自然災害や外的要因によって生じた故障・損傷
- 7) 消耗品（SDカード・バッテリー・ディスプレイ）は保証対象外になります。

その他免責事項

- 本製品の使用に起因する障害や損失利益の請求等につきましては、上記に関わらず当社はいかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計・製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、当社はいかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。
- 修理・点検の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容・記録した映像データは全て消去されますので、予めご了承ください。

製品保証書

保証期間 ご購入日から1年

製品名 AMEX-A05/AMEX-A05W/AMEX-A05TR

この保証書は、取扱説明書に基づいた使用状態で異常・故障が発生した場合、保証書の記載内容にて無料修理を行うこと
をお約束するものです。お買上の際に販売店印・ご購入日が記載されていることを確認してください。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品 Serial No	
ご購入日:	年 月 日
お名前 :	
ご住所 :〒	
電話番号:	()
販売代理店(店名・住所・電話番号)	

製造元(修理品送付先)

株式会社青木製作所

〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2917-1

TEL 027-320-2677(アメックスアルファ内)

【受付時間】 AM9:00~11:00/PM13:00~16:00

■ メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<http://www.aokiss.co.jp/contact.html>



AMEX-A05/A05W/A05TR